

「三重県ギャンブル等依存症対策推進計画（仮称）」 新旧対照表（案）

資料2

No.	頁	最終案	中間案（第2回部会）	備考																								
1	2	依存症とは、アルコールや薬物等の特定の物質を摂取することや、ギャンブル等の特定の行為に、過度にのめり込むことにより、「やめたくても、やめられない」状態のことです。	依存症とは、アルコールや薬物等の特定の物質を摂取することや、ギャンブル等やゲーム・インターネット等の特定の行為に、過度にのめり込むことにより、「やめたくても、やめられない」状態のことです。	パブリックコメント等に基づく修正																								
2	5	人口10万人あたりのぱちんこ店舗数及び遊技台数（令和2年の店舗数及び遊技台数を令和2年10月1日の人口に基づき算出）を全国と比較すると、ぱちんこ店舗数は全国で第39位、遊技台数は全国で第29位となっています。	人口10万人あたりのぱちんこ店舗数及び遊技台数（令和2年のぱちんこ店舗数及び遊技台数を令和元年10月1日の人口（推計）にて算出）を全国と比較すると、ぱちんこ店舗数は全国で第39位、遊技台数は全国で第29位となっています。	時点修正																								
3	5	全国の人口（令和2年10月1日現在）で換算すると、全体は約191万人、男性は約160万人、女性は約30万人と推計されます。（表4）	全国の人口（令和元年10月1日現在の人口（推計））で換算すると、全体は約196万人、男性は165万人、女性は31万人と推計されます。（表4）	時点修正																								
4	5	三重県の人口（令和2年10月1日現在）で換算すると、全体は約2.6万人、男性は約2.2万人、女性は約0.4万人と推計されます。（表4）	三重県の人口（令和元年10月1日現在の人口（推計））で換算すると、全体は約2.7万人、男性は2.3万人、女性は0.4万人と推計されます。（表4）	時点修正																								
5	6	<p>表4 過去1年におけるギャンブル等依存症が疑われる者の推計（万人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>合計</th> <th>男性</th> <th>女性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国<sup>※4</sup></td> <td>191</td> <td>160</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>三重県<sup>※5</sup></td> <td>2.6</td> <td>2.2</td> <td>0.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>※4 全国の18～74歳人口（令和2年10月1日現在）に推計値を乗じて算出                      ※5 三重県の18～74歳人口（令和2年10月1日現在）に推計値を乗じて算出</p>		合計	男性	女性	全国 <sup>※4</sup>	191	160	30	三重県 <sup>※5</sup>	2.6	2.2	0.4	<p>表4 過去1年におけるギャンブル等依存症が疑われる者の推計</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>合計</th> <th>男性</th> <th>女性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国<sup>※4</sup></td> <td>約196万人</td> <td>約165万人</td> <td>約31万人</td> </tr> <tr> <td>三重県<sup>※5</sup></td> <td>約2.7万人</td> <td>約2.3万人</td> <td>約0.4万人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※4 全国の18～74歳人口（令和元年10月1日現在の人口（推計））に推計値を乗じて算出                      ※5 三重県の18～74歳人口（令和元年10月1日現在の人口（推計））に推計値を乗じて算出</p>		合計	男性	女性	全国 <sup>※4</sup>	約196万人	約165万人	約31万人	三重県 <sup>※5</sup>	約2.7万人	約2.3万人	約0.4万人	時点修正
	合計	男性	女性																									
全国 <sup>※4</sup>	191	160	30																									
三重県 <sup>※5</sup>	2.6	2.2	0.4																									
	合計	男性	女性																									
全国 <sup>※4</sup>	約196万人	約165万人	約31万人																									
三重県 <sup>※5</sup>	約2.7万人	約2.3万人	約0.4万人																									

No.	頁	最終案	中間案（第2回部会）	備考																								
6	7	ギャンブル等依存症の外来診療を <u>行っている</u> 医療機関に1年に1回以上受診した患者数は、平成29年度において、全国3,499人、三重県38人となっています。これは、(1)の本県における過去1年におけるギャンブル等依存症が疑われる者約2.6万人（推計値）の約0.15%となり、医療機関につながっていない方が多いことが推測されます。	ギャンブル等依存症の外来診療を <u>している</u> 医療機関に1年に1回以上受診した患者数は、平成29年度において、全国3,499人、三重県38人となっています。これは、(1)の本県における過去1年におけるギャンブル等依存症が疑われる者約2.7万人（推計値）の約0.14%となり、医療機関につながっていない方が多いことが推測されます。	時点修正																								
7	8	<p><u>表5 多重債務相談対応件数の推移</u> ※ギャンブル等依存症以外の要因も含む（件）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>多重債務相談対応件数</td> <td>524</td> <td>658</td> <td>661</td> <td>713</td> <td>790</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典：三重県環境生活部暮らし・交通安全課調べ</p> <p><u>表6 生活困窮者からの新規相談対応件数の推移</u> ※ギャンブル等依存症以外の要因も含む（件）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活困窮者からの新規相談対応件数</td> <td>3,964</td> <td>3,583</td> <td>3,370</td> <td>2,928</td> <td>9,285</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典：三重県子ども・福祉部地域福祉課調べ</p>		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	多重債務相談対応件数	524	658	661	713	790		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	生活困窮者からの新規相談対応件数	3,964	3,583	3,370	2,928	9,285		パブリックコメント等に基づく修正
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度																							
多重債務相談対応件数	524	658	661	713	790																							
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度																							
生活困窮者からの新規相談対応件数	3,964	3,583	3,370	2,928	9,285																							

No.	頁	最終案	中間案（第2回部会）	備考																								
8	9	<p><u>人口動態統計によると、令和2年は269人となり、近年では減少傾向にあります。（表9）</u>  <u>表9 自殺者数の推移</u></p> <p style="text-align: center;">※ギャンブル等依存症以外の要因も含む（人）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 28年</th> <th>平成 29年</th> <th>平成 30年</th> <th>令和 元年</th> <th>令和 2年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自殺者数</td> <td>265</td> <td>305</td> <td>293</td> <td>276</td> <td>269</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">出典：厚生労働省「人口動態統計」</p>		平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	自殺者数	265	305	293	276	269	<p><u>本県の自殺者数は減少傾向にあり、令和元年の人口動態統計によると276人と前年に比べて減少しています。（表7）</u>  <u>表7 自殺者数の推移</u></p> <p style="text-align: center;">（人）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 27年</th> <th>平成 28年</th> <th>平成 29年</th> <th>平成 30年</th> <th>令和 元年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自殺者数</td> <td>339</td> <td>265</td> <td>305</td> <td>293</td> <td>276</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">出典：厚生労働省「人口動態統計」</p>		平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	自殺者数	339	265	305	293	276	<p>時点修正</p>
	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年																							
自殺者数	265	305	293	276	269																							
	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年																							
自殺者数	339	265	305	293	276																							
9	10	<p><u>（6）ギャンブル等依存症以外の精神障害</u>  <u>ギャンブル等依存症が高じて、うつ病や不安障害を引き起こし、状況が悪化すると自殺に至る場合もあります。</u>  <u>なお、ギャンブル等依存症の当事者には、発達障害、知的障害、うつ病、不安障害、トラウマ関連障害等の他の精神障害を抱えている場合があります。</u></p>		<p>部会の意見に基づく修正</p>																								
10	14	<p><u>公営競技やばちんこ等を行う人の多くは、節度を持って健全に楽しんでいる一方で、のめり込むことにより、ギャンブル等依存症と呼ばれる状態に至る場合がありますが、本人が病気であるという認識を持ちにくいこと、誰もがなり得る可能性があること、適切な医療や支援により回復が可能であること等の正しい知識が県民に十分理解されていない状況です。</u></p> <p><u>そのため、使用する金額の上限や時間をあらかじめ設定するなど、節度を持って楽しむことが重要ですが、関係事業者においても、ギャンブル等依存症の予防等に配慮した広告・宣伝、ギャンブル等依存を生じさせない環境づくりに関する取組が必要です。</u></p>	<p><u>ギャンブル等依存症は、本人が病気である認識を持ちにくいこと、誰もがなり得る可能性があること、適切な医療や支援により回復が可能であることなど、正しい知識が県民に十分理解されていない状況です。</u></p> <p><u>このため、関係事業者においても、ギャンブル等依存症の予防等に配慮した広告・宣伝、ギャンブル等依存を生じさせない環境づくりに関する取組が重要です。</u></p>	<p>部会の意見に基づく修正</p>																								

「三重県ギャンブル等依存症対策推進計画（仮称）」 新旧対照表（案）

資料 2

No.	頁	最終案	中間案（第2回部会）	備考
11	17	※削除しました。	・ <u>店内のATMの撤去及び運用停止</u>	パブリックコメント等に基づく修正
12	18	本県における平成29年度のギャンブル等依存症の外来患者数は38人となっています。これは、過去1年におけるギャンブル等依存症が疑われる者約 <u>2.6万人</u> （推計値）の約 <u>0.15%</u> となり、医療機関につながっていない方が多いことが推測されます。	本県における平成29年度のギャンブル等依存症の外来患者数は38人となっています。これは、過去1年におけるギャンブル等依存症が疑われる者約 <u>2.7万人</u> （推計値）の約 <u>0.14%</u> となり、医療機関につながっていない方が多いことが推測されます。	時点修正
13	28 ～ 36	※参考資料に以下を追記しました。 <u>1 県内の依存症治療医療機関・依存症専門医療機関・相談拠点 一覧表</u> <u>2 ギャンブル等依存症対策基本法（平成三十年法律第七十四号）</u>		パブリックコメント等に基づく修正